

### 脳性ナトリウム利尿ペプチドの上昇は、夜間血圧上昇を介して心血管イベントに関連する

Nighttime home blood pressure as a mediator of N-terminal pro-brain natriuretic peptide in cardiovascular events

星出 聡

自治医科大学 循環器内科

家庭血圧や24時間自由行動下血圧計で測定された夜間血圧は、心血管イベントと関連する。夜間血圧上昇の機序の一つとして、体液量過剰が考えられる。本研究では、体液貯留のバイオマーカーであるN末端脳性ナトリウムペプチド（NT-proBNP）の上昇が心血管イベントに関連する媒介因子として夜間血圧上昇が関わっているのではないかという仮説を検証した。家庭血圧の予後推定能の研究であるJ-HOP研究において、夜間血圧が測定できる家庭血圧計にて夜間血圧を測定した（午前2時、3時、4時）2476名を解析対象にした。平均7.2年間の追跡期間中、150例の心血管イベントが発現した（脳卒中62イベント、冠動脈疾患88イベント）。心血管危険因子で補正後の対数変換後のNT-proBNPの1標準偏差（SD）上昇の心血管イベントに対するハザード比（95%信頼区間）は、1.67 (1.16-2.40)であった。心血管危険因子及びNT-proBNPで補正後の夜間血圧の1SD上昇の心血管イベントに対するハザード比（95%信頼区間）は、1.22 (1.001-1.50)であった。媒介分析では、NT-proBNPと心血管イベントの関係に夜間家庭血圧レベルは15%寄与していた。一方、日中家庭血圧レベルの寄与は8.2%であった。脳性ナトリウム利尿ペプチド上昇の心血管イベントへの関連の一部は、夜間血圧上昇が寄与する。